

学校図書館支援だより

令和4年1月27日(木) 第7号

益田市教育委員会 Tel31-0445 Fax24-1380

学びのサポーター活動報告(12月分より)

新型コロナウイルス感染拡大を受け、益田市内の小中学校でも出校停止(部分休校)の措置が取られました。そんな中、学校図書館の利用においても、さらに気を配っておられることと思います。感染を気にすることなく、子どもたちが喜んで学校図書館に集まるような日が早く来るといいなあと思います。各学校図書館での引き続きのご配慮、よろしくお願いします。

第3回学びのサポーター研修がありました

今年度「第3回の学びのサポーター研修」を1月14日(金)、に実施しました。学びのサポーターさん、学校司書さんにご参加いただきました。「ICT活用事例」「学校における著作権と教育の情報化」についての講義がありました。ICT環境を整えることにより、教室と学校図書館の結びつきが変わり、新しい学び方を工夫することができることや、著作権法第35条を通した学校教育の場に関わる著作権について学びました。

残念ながら

新型コロナウイルス感染拡大により・・・

- 島根県学校司書研修(第3回)【2月14日開催予定】は、中止となりました。
- 中西小学校 第2回学校図書館活用事業に係る公開授業【1月24日実施予定】は、益田市内の小中学校の出席停止により中止となりました。

～人権月間の取組より～

図書館では、「本やお話を読んで、ぼかぼかことばを見つけよう!」をキャッチフレーズとしてホールに友だちと人と人との関わりをテーマにした本と人権ツリー「ぼかぼかのことばの木」を展示しました。…カードを読んでみると読んでいる人も心がぼかぼかになるようでした。

教室から(学校図書館が)遠いこともあってか、決まった児童の来館が多く、普段来館しない子にどうやって来館してもらうかいつも考えます。…冬休みの本の貸出も行ったので、年明けの返却時に返却だけでなく、また違う本を借りたくなるイベントなども考えたいです。

3年生家庭科幼児教育の絵本読み聞かせで、普段絵本を手にする機会があまりない中でこの本は、ぜひ読んでほしいと思って入れた命の大切さが書かれた本があります。ある生徒がその本を選び「めっちゃいい本。一人で読んだら絶対泣く。」と感想をきかせてくれました。とてもうれしかったです。そういう感性を大切にしてほしいなと思いました。

全学年、授業時間に教室で担任の指導を受けて、冬休み用の本をひとり3冊借りました。読み切ることも大切ですが、自分はどんな題名や挿絵に惹かれるのか、出会いのきっかけを大事にしてほしいです。



お知らせ

益田市教育委員会 協働のひとづくり推進課により、「学校循環型 読み物セット」を小学校、中学校用に準備しています。「本に親しむ環境づくりの一つとすることや児童生徒の読書の幅を広げ、基礎学力や新型コロナウイルス感染症による外出抑制時における在宅時間を有意義に過ごすことにもつなげたい。」という思いからの取組です。

昨年度、小学校用に1290冊、中学校用に516冊の読み物を購入しました。小学校用では、低学年、中学年、高学年の3セットを一つの大きな単位とし各校に届くようにします。また、小学校15校は3つのブロックに、中学校9校は、2つのブロックに分け、そのブロック内で本がローテーションするような仕組みとなっています。

詳しくは、準備が整い次第、担当より説明をさせていただく予定です。長年読み継がれている古めかしい本にも目を向ける機会になるのでは・・・と期待しています。